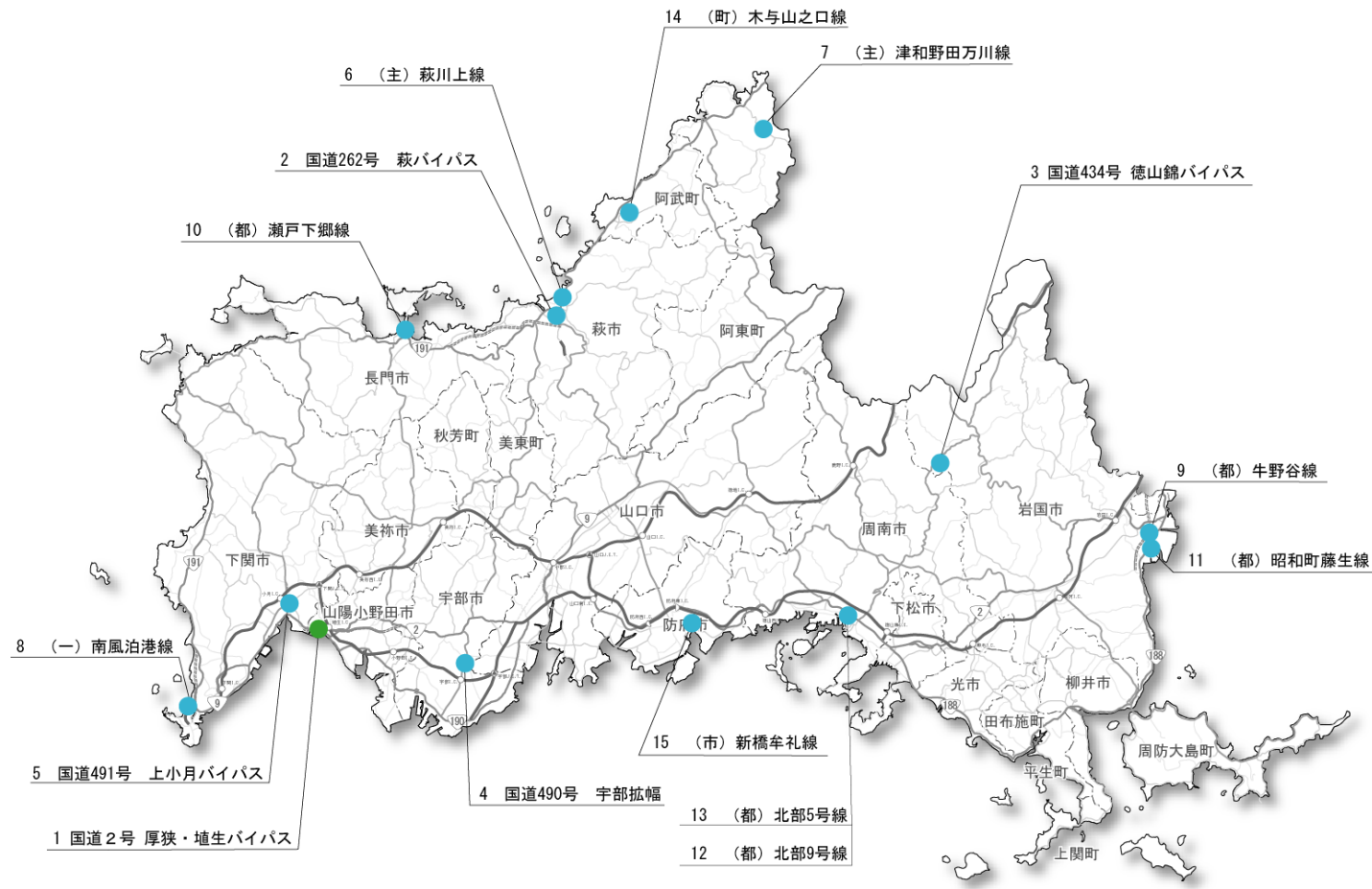


■平成18年度供用予定事業

No.	路線名	箇所名	路線延長 (m)	H18供用延長 (m)
1	国道2号 厚狭・埴生バイパス	下関市松屋東町二丁目～宇部市逢坂	12,600	2,700
2	一般国道262号 萩バイパス	萩市川島～椿	1,900	1,200
3	一般国道434号 徳山錦バイパス	周南市須万	12,820	900
4	一般国道490号 宇部拡幅	宇部市上宇部～川上	6,000	1,000
5	一般国道491号 上小月バイパス	下関市小月町	2,100	1,100
6	(主)萩川上線	萩市無田ヶ原	1,750	750
7	(主)津和野田万川線	萩市上田万	250	250
8	(一)南風泊港線	下関市本村町	690	690
9	(都)牛野谷線	岩国市牛野谷～平田	1,860	900
10	(都)瀬戸下郷線	長門市東深川～東湊	390	390
11	(都)昭和町藤生線	岩国市車町	245	245
12	(都)北部9号線	周南市慶万～舞車	220	220
13	(都)北部5号線	周南市車辻～河原	170	170
14	町道木与山之口線	阿武町木与～奈古	2,200	2,200
15	市道新橋牟礼線	防府市多々良	300	300



平成18年度供用予定事業位置図

■用語説明

アカウントビリティ <Accountability>

道路行政における「透明性の確保」のための説明責任や説明義務です。

アウトカム指標

道路施策・事業を実施することによって発生する効果・成果を表す指標です。

3次医療施設

脳卒中、心筋梗塞等の重篤な患者を24時間体制で受け入れ、高度な医療を提供する救急救命センター等の医療施設を意味します。山口県内では、岩国医療センター、県立総合医療センター、山口大学医学部附属病院、関門医療センターが指定されています。

緊急輸送道路

大規模な地震が起きた場合の避難・救助、物資の供給、復旧作業等の広範な応急対策活動のための道路ネットワークです。このうち、県庁と主要都市を結ぶ高速道路、一般国道及びこれらを連絡する幹線道路などを第1次緊急輸送道路としています。

リダンダンシー <Redundancy>

諸機能の万一の機能障害やピーク時の過度な負荷による機能低下に対する代替・補完手段を確保することを示します。道路ネットワークにおいては、代替路線があり、災害時にも使える道路が確保できる状態を「リダンダンシーが高い」といいます。

事故危険箇所

10年に1度以上の確率で死亡事故が発生する恐れの高い箇所、または、幹線道路の平均事故率の5倍以上の確率で事故が発生する箇所を「事故危険箇所」として指定し、都道府県公安委員会と道路管理者が連携して集中的な死傷事故抑止対策を講じています。

あんしん歩行エリア

歩行者及び自転車利用者の安全な通行を確保するために緊急に対策を講ずる必要があると認められる住居地区又は商業地区内の人身事故発生件数が、1km²当たり年間42件以上で、概ね100～200ヘクタールの区域を「あんしん歩行エリア」として指定し、都道府県公安委員会と道路管理者が連携して、面的かつ総合的な死傷事故抑止対策を講じています。

交通バリアフリー法

高齢者、身体障害者、妊産婦などの公共交通機関を利用した移動の利便性及び安全性を向上するため、旅客施設を中心とした一定の地区において市町村が作成する基本構想に基づいて、公共交通機関や歩道ネットワークのバリアフリー化を推進することを定めた法律です。

重点整備地区

一定規模の駅等の旅客施設（特定旅客施設）及びその周辺を重点的に整備するために、特に指定した地区のことです。

なお、特定旅客施設とは、一日の利用者数が5,000人以上の旅客施設、又は利用状況から移動円滑化事業を優先的に実施する必要があると認められる施設のことです。

特定経路

特定旅客施設と周辺の主要施設とを結ぶ経路のうち、特に重点的にバリアフリー化を図るべき経路で、市町村が策定する基本構想において定められます。

ワークショップ

参加体験型の集会や講習会のことで、地域の問題点や課題を解決する場合によく用いられる手法です。行政、企業、地域住民など様々な人たちが共通の体験をしたり、意見を出し合ったりすることで合意形成を図っていきます。